

ノヴァーラは電車でトリノから約1時間、ミラノから約30分。そしてマルペンサ国際空港から約30kmの中心的な位置に存在します。ノヴァーラは低く平らな平野が広がる土地で、北部にはマッジョーレ湖やオルタ湖があります。またお米やワインの地域として知られています。

この土地を訪れる人は、この町の静けさや歴史遺産、芸術や食文化、そして何世紀にもわたる伝統文化に触れることができます。どうかこの町を歩いてみてください。詩人、作家、音楽家、画家、建築家・・・それぞれが築き上げてきたこのノヴァーラの歴史を感じ取ってみてください。

この町を訪れる人々にとってノヴァーラはきつととも興味深い町でしょう。

町の中心にある歴史地区には優雅な1800年代(ルネッサンス時代)の邸宅が並んでいます。小さな広場や石畳の道を抜けると、聖ガウデンツィオ大聖堂([Basilica di San Gaudenzio](#))がそびえ立っています。

クーポラまでの高さは121メートル。1800年代に建築家アレッシンドロ・アントネッリ(1798 - 1888)によって建設されました。このクーポラはノヴァーラの町を走るとの道からでも一望することができます。

聖ガウデンツィオ大聖堂(Basilica di San Gaudenzio)は常に守護聖人が見守る町の信仰の中心でありました。

他にノヴァーラの信仰の場所として、同じくアントネッリによって建てられたロマネスク様式の聖マリア・アッスンタ教会([Cattedrale di Santa Maria Assunta](#))があります。

洗礼堂(Battistero paleocristiano)はノヴァーラの建築物の中で一番古い建物です。

そして15世紀に建てられた司祭館(quadriportico della Canonica)には大変貴重な聖遺物が保管されている博物館があります。



町のドゥオモから少し歩くと旧市役所([Broletto](#))と現代美術館(Galleria d'Arte Moderna "Paolo e Adele Giannoni")

があります。印象派の作品とされるマッキアイオーリ、ファットーリ、セガンティーニ、ノメリーニの作品が多く収められています。

そして1600年代初期にバルナバ修道士会によって建設されたロマネスク様式の諸聖人教会([Chiesa di Ognissanti](#))と聖マルコ教会([Chiesa di San Marco](#))には、告解の部屋や説教壇に大変貴重な彫刻が彫られており、

また画家、プロカッチーニ、ダニエレ・クレスピ、モンカルヴォの作品に感嘆することができます。

ノヴァーラの歴史地区(チェントロ)を散策すると、歴史的な要塞の遺跡を見つけることができます。

これらの要塞は紀元前1世紀頃のもので、現在は修復されカヴール広場(Piazza Cavour)とドミニオーニ通り(Via Dominioni)で見ることができます。

そして中世のエルベ広場まで散歩を続けると、ナツタ邸の塔やコッチャ劇場、ヴィスコンティ城があり、それらは現在市民博物館や各種催しの場所として使われています。

ノヴァーラの人々はこの広大な水田地帯や広がる地平線を見て“BASSA”(低い土地)と呼んでいましたが、作家ダンテ・グラツィオージ(1915-1997)はこのノヴァーラ平野を初めて“アオサギの大地”と呼んだ人でした。

この“Mare e quadretti”(四角い海、水田をあらわす)は何世紀もの間この土地を躍動し続けていました。その証としてガッリアーテ城([Castello di Galliate](#))や聖ナツザーロ セージア教会([l' Abbazia benedettina di San Nazzaro Sesia](#))

他にも多くの重要な宗教建築や歴史的建造物が築き上げられたのです。

カザルベルトラーメ(Casalbeltrame)という町には民俗学博物館(Museo Etnografico dell' Attrezzo Agricolo 'L Cive')があり、そこではこの田舎文化をより深く知ることができます。

水田地帯にはカナーレ(Canale)と呼ばれる用水路があり、その両脇にはポプラ並木が連なる田舎道が通っています。現在は遊歩道、サイクリングコースとして整備され、誰でもその道を楽しめるようたくさんの標識で記されています。

この“アオサギの大地”のある丘陵地帯を通ると、地平線にくっきりと浮かび上がるアルプスの山々に、まるで手を伸ばせば届きそうな、そんな印象を与えます。

ブリオーナ城([Castello di Briona](#))は、昔から貴重で味わい深いワインの産地として親しまれ、訪れる多くの人々をずっと見守ってきました。

“Bibe vivas multis annis”「飲めばもっと長生きする」と書かれた4世紀～5世紀頃のガラス製のグラスが、カステラツォ(Castellazzo)周辺で発見され、現在ミラノにある考古学博物館(Civico Museo Archeologico di Milano)に保管されています。

この地域のワイン(Colline Novaresi)はすでにプリニオ・イル・ヴェッキオの書いた本 Naturalis Historia(紀元後1世紀頃)でも賞賛されており、この地域の経済や食文化だけではなく、もっと根本的なこの土地に生きる人々のことがとても重要であると書かれています。

ロマニャーノ セージア(Romagnano Sesia)には建築家アントネッリによって建てられたソルジェ邸(Villa Sorge)が現在、民俗学博物館([Museo Etnografico della Bassa Valsesia](#))となっており、そこではこの地域のブドウ栽培について詳しく紹介されています。

ブリオーナ(Briona)からロマニャーノ セージア(Romagnano Sesia)、ボーカ(Boca)やスーノ(Suno)、そしてオレッジョ(Oleggio)やメッゾメリーコ(Mezzomerico)といったこの土地の古いワイン街道にはたくさんの城や教会があります。ファラ(Fara)にある聖ピエトロ教会([Chiesa di San Pietro a Fara](#))、ロマニャーノ セージア(Romagnano Sesia)の聖シラノ教会([San Silano a Romagnano Sesia](#))、そしてボーカ聖地([Santuario di Boca](#))。これらの教会は建築家アレッサンドロ・アントネッリによって手がけられ、今では多くの巡礼者が訪れています。それから、オレッジョ(Oleggio)にある聖ミケーレ教会([Chiesa di San Michele a Oleggio](#))、モモ(Momo)の聖トリニタ礼拝堂([Oratorio della Santissima Trinita' a Momo](#))などもあります。

そして、ゲンメ城([Castello-Ricetto di Ghemme](#))は外部の敵が侵略できない強固な要塞を築いた城として現在もその勇姿を見ることができます。



ノヴァーラにはまだ手のつけられていない豊かな自然が多く広がっています。

マッジョレー湖を源流とするティチーノ川沿いには自然公園 [Parco Naturale della Valle del Ticino](#) があります。

そして県境いとなるヴェルチェッリ(Vercelli)を通るセージア川には自然公園 Parco delle Lame del Sesia があり、鷺などの鳥類が多く巣を作る場所として知られています。

セージア川を上ると自然公園 [Parco Naturale del Monte Fenera](#) があり、この地域は先史時代の化石などが多く発見され、洞窟やこの地域特有

の珍しい植物が生息し、大変貴重な黒コウノトリが巣を作っています。

ここから数キロメートル先には自然公園 Riserva Naturale Orientata delle Baragge があり、心に響く荒野が広がっています。その近くに広がる湿地帯 [Palude di Casalbeltrame](#) は自然保護区に指定され、シマアジ(カモ科) マガモ、タシギ(シギ科) サギ、そして大変珍しいハヤブサの生息地で、多くの野鳥愛好家達が訪れています。

これらの自然公園の他にボルゴラヴェッザーロ市(Borgolavezzaro)では4つの自然の憩いの場を設け、ノヴァーラの自然を守っています。

ヴィコロンゴ アウトレットは約140ものお店が並ぶ、巨大アウトレットモールです。洋服から化粧品、雑貨や家庭用品まで、ショッピングを思う存分お楽しみいただけます。高速道路 A4 Vicolungo を降りてすぐの場所です。そしてカシミア製品のアウトレットは高速道路 A26 沿い、ゲンメやロマニャーノ セージア方面にあります。

ノヴァーラの特徴を語るにあたって欠かせないのが食です。ゴルゴンゾーラチーズはドルチェとピッカンの二つの味があります。

ノヴァーラのお米を使ったリゾット“パニッシャ”は、豚の油（ラード）や野菜、サラミとノヴァーラの赤ワインを入れた代表的な郷土料理です。



田園に囲まれたこの地域では蛙を食べる習慣があり、フライにしたり詰め物料理や煮込み料理にして食べます。そして外すことができないのが“[Salam d'la duja](#)”と呼ばれるラードに浸けた特別なサラミや豚の肝と香辛料を使ったソーセージ“Fidighina”です。

ボルゴマナーロという町にはとても有名なタブローネ([Tapulone](#))と呼ばれる料理があります。ロバのひき肉と赤ワインを使った煮込み料理です。そしてドルチェ(甘いお菓子)も外すことができません。ノヴァーラビスケットは現在世界中に量産されていますが、昔ながらの製法で作りを続けている菓子店がノヴァーラのチェントロにあります。このノヴァーラビスケットによく合うワインとして Vini delle colline と呼ばれるノヴァーラ産のワインで、特に DOC del Novarese をお勧めします。これらのワインはファラ([Fara](#)) シッツァーノ([Sizzano](#)) ボーカ([Boca](#)) コッリーネ ノヴァレージ(Colline Novaresi) ゲンメ([Ghemme DOCG](#))で生産されています。またグラッパなどにもとてもよく合います。